



医療法人 川崎病院



後期研修医のご案内

神戸市の中心地

交通至便の地

■ 病院全景



■ 病院の紹介

沿革

川崎病院は、1936年、川崎グループ(川崎重工、川崎製鉄、川崎汽船)の企業病院として開設された後、1950年に医療法人として独立し、兵庫県下でも代表的な総合病院として、地域医療に貢献し、多数の救急患者も受け入れています。

理念

1. 人々の疾病の治療と健康の維持に、他の医療機関と連携し貢献します。
2. 患者さんとの対話を大切にし、病状と治療方針を十分に説明し理解していただくよう努めます。
3. 患者さんが心地よく治療に専念できるよう患者サービスに努力します。
4. 医療にたずさわる人間としての使命感を持ち、より高い知識と技術の習得に努力すると同時に、働きがいのある職場環境を形成します。

■ 病院概観

病床数

297床

職員数

430名

診療科

内科

循環器科

消化器科

耳鼻咽喉科

外科

皮膚科

整形外科

眼科

泌尿器科

婦人科

放射線科

歯科口腔外科

形成外科

付属施設

心臓血管センター

人工透析室

内視鏡室

リハビリ室

健診センター

介護支援室

主要機器

64列マルチスライスCT

MRI

RIシンチ

アンジオ撮影装置

マンモグラフィ

患者数

外来 1日平均 649名 * H20年1月実績

入院 1日平均 210名 * H20年1月実績

Activity

各科の症例数 (H19年度実績)

	外来	入院
内科	60,253 件	34,394 件
循環器科	13,581 件	10,188 件
外科	15,250 件	15,205 件
泌尿器	7,084 件	726 件
整形外科	36,671 件	10,845 件
歯科口腔外科	14,632 件	782 件
皮膚科	8,192 件	NA 件
婦人科	3,308 件	NA 件
眼科	21,194 件	2,653 件
耳鼻咽喉科	10,039 件	438 件
放射線科	549 件	NA 件
人工透析室	13,581 件	2,019 件

その他の症例 (H19年度実績)

胃内視鏡	3,917
超音波内視鏡	21
胃EMR	10
EVL・EIS	10
ERCP	28
EST	23
胆石砕石術	21
大腸内視鏡	1,027
大腸ポリペクトミー	286
肝生検	7
PEIT	25
内視鏡的止血術(上部・下部)	47
胃ろう造設	46
急性心筋梗塞の入院	45
冠動脈造影検査(CAG)	518
経皮的冠動脈形成術(PCI)	167
心臓超音波検査(UCG)	2,329
ペースメーカー植え込み	26

■ 学会認定教育・研修施設

日本内科学会認定医制度教育病院

日本消化器科内視鏡学会認定指導施設

日本消化器病学会指導関連施設

日本糖尿病学会認定教育施設

日本循環器専門医研修施設

日本血液学会認定医研修施設

日本外科学会認定医制度修練施設

日本乳癌学会研修施設

日本消化器外科学会専門医修練施設

日本整形外科学会専門医制度研修施設

日本外科学会外科専門医制度修練施設

日本プライマリケア学会認定医研修施設

■ 研修にかかる行事

毎週

内科症例検討会

内科抄読会

循環器症例検討会

循環器抄読会

内視鏡検討会

外科症例検討会

整形外科症例検討会

早朝研修医ミニレクチャー

毎月

院内学術集会

2ヶ月毎

臨床病理検討会（CPC）

X線画像検討会（兵庫区医師会共催）

■ 研修の内容

目的

初期臨床研修を修了した医師を対象に、さらなる専門分野のより高度な知識及び技術を習得することを目的とする。

特徴

中規模病院であり、各科の医師、スタッフとの連携が容易で、家族的な雰囲気の中でストレスなく研修できる。各医師にはコンピュータが支給されており、メールで院内の情報交換が行われている。また、常時インターネットを使用できる環境が確立されている。

なお、後期研修医の募集診療科は内科、外科で、内科研修医は一般内科研修に加えて、循環器、消化器、糖尿病、腎透析の専門研修も並行して行い、さらなる専門的な技術や知識を習得し、地域医療に貢献する臨床医を育成することを目的とする。また、外科研修では主に、消化器外科専門医の養成を目指す。呼吸器外科や末梢血管外科の経験も積むことができる。消化器外科領域では胆のうや食道、胃、十二指腸、大腸などの内視鏡外科手術を修得することができる。

■ 研修の内容 内科 1

内科医研修概要

後期研修医（以下、専修医）コース1年目は内科所属とし、消化器内科、循環器内科、内分泌内科、腎・透析内科を1年間ローテーションする。卒後4年目、5年目は志望診療科所属の専修医とし、内科専門医及び各内科系専門医の取得を目指す。

【消化器内科】

はば広く内科学を理解し、日本内科学会認定内科医を取得するとともに、消化器、消化器内視鏡、肝臓の各専門医資格を獲得することを目指す。

卒後3年目は、内科疾患を広く経験するために、主に一般内科の研修を行うと同時に、上部消化管内視鏡や腹部超音波検査などの消化器内科の初期研修を行う。

卒後4年目と5年目は消化器内科の専門研修となり、上部消化管内視鏡に加えて大腸内視鏡検査、ERCP、超音波内視鏡を、内視鏡下ポリペクトミー、内視鏡的止血処置、食道静脈瘤の内視鏡治療などの観血的侵襲的な手技も経験する。

■ 研修の内容 内科 2

【循環器科】

はば広く内科を理解し、日本内科学会認定内科医を取得するとともに、循環器専門医を目指す。卒後3年目は内科疾患を広く経験するために、主に一般内科の研修を行うと同時に、循環器内科の初期研修を行う。

卒後4年目と5年目は循環器内科の専門研修を行い、以下の項目を目標とする。

心電図・胸部レントゲンの正確な判読。運動負荷試験やホルター心電図の実施・解析。

心臓超音波検査、経食道超音波検査の施行・診断。心臓核医学検査の実施・判読。循環器疾患の救急・救命処置。心臓カテーテル検査、カテーテルインターベンション、体外式ペースメーカー挿入術。

■ 研修の内容 内科 3

【糖尿病内分泌科】

はば広く内科を理解し、日本内科学会認定内科医を取得するとともに、糖尿病専門医を目指す。卒後3年目は内科疾患を広く経験するために、主に一般内科の研修を行うと同時に、内分泌代謝研修を行う。

卒後4年目と5年目は内分泌代謝内科の専門研修を行う。糖尿病、甲状腺疾患に加え、視床下部・下垂体疾患、副腎不全、高尿酸血症、高脂血症を病棟もしくは外来で経験する。

■ 研修の内容 内科 4

【腎・透析内科】

はば広く内科を理解し、日本内科学会認定内科医を取得するとともに、腎・透析専門医を目指す。

卒後3年目は内科疾患を広く経験するために、主に一般内科の研修を行うと同時に、腎・透析内科の初期研修を行う。

卒後4年目と5年目は腎・透析内科の専門研修を行う。具体的には、腎炎症例に対する腎生検。腎機能障害に対する一般療法、薬物療法。血液透析・腹膜透析の導入。長期透析患者における種々の合併症の治療。

■ 研修の内容 外科

外科医研修概要

外科所属とし、先ずは外科専門医の取得を目指す。その後、消化器外科専門医等、外科系サブディビジョンの専門医を目指す。

【消化器外科】

修練可能な内容は、消化器外科全般にわたる手術、呼吸器外科手術、末梢血管外科手術等、外科医として必要な基本的診療技術に加え、胆嚢摘出術のみならず、胃腸管に対する内視鏡外科手術の修練も対象とする。

■ 処遇

- 応募資格： (1) 初期研修修了見込の方（現在卒後2年目の方）
(2) 3年目後期研修修了見込の方（現在卒後3年目の方）
- 採用予定人数： 3名程度
内分泌代謝内科、消化器内科、循環器内科、腎・透析内科を志望する
後期研修希望者
- 身分： 常勤医員（レジデント）
- 給与： 平均年収額（実績） 賞与、当直料込み、通勤交通費除く
卒後3年目 約1,000万円
卒後4年目 約1,040万円
卒後5年目 約1,070万円
- 保険： 雇用保険 労災保険
川崎重工業健康保険組合 厚生年金保険 病院厚生年金基金
病院として医療過誤保険に加入
- 勤務時間： 当院職員に準ずる
平日 8：30-17：00
土曜日 8：30-12：40（月3回休み）
日曜・祝日休み
- 休暇： 定例休暇（有給休暇）初年度10日

■ 連絡先

〒652-0042

神戸市兵庫区東山町3-3-1

TEL 078-511-3131

FAX 078-511-3637

副院長

中村 正(なかむら ただし)

e-mail:nakamura_tadashi@kawasaki-hospital-kobe.or.jp



病院ホームページ <http://kawasaki-hospital-kobe.or.jp/>